



なかぐすく

4月
264号

ホームページ <https://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

住宅火災の延焼拡大を防ぎ、消防協力者として
3名の中城村民が表彰されました!!



関連記事 P9
「地域住民の
連携プレーで
初期消火」

今月の主な内容

- 平成31年度施政方針 P2～9
- 4月10日より申請受付を開始します! P10
- 障害児福祉手当・
特別障害者手当制度について P11
- 第2回中城村戦跡めぐり開催しました! P12
- 沖縄戦調査ノート P13
- 下水道補助金 4月からスタート P14
- ヘルプロ通信 P15
- むらの話題 P16～17

- 4月・5月カレンダー P18
- 中城村護佐丸歴史資料図書館 P19
- GW期間中のごみ収集や
各施設の開館状況について P20
- 案内お知らせ P21～23
- 中城中学校北側道路の交通規制について P24

中城村ホームページはこちらから!



施政方針



平成31年第2回中城村議会が開かれ、平成31年度の事業、予算案の審議および一般質問などが行われました。議案審議に先立ち今年度の重点施策と主要施策を明らかにし、平成31年度の施政方針を述べました。

はじめに

平成31年度一般会計予算をはじめとする関係諸議案のご審議をお願いするにあたり、村政経営に対する基本的な考え方として施政方針を申し上げ、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

今年4月30日に平成という時代が幕を閉じます。改めて、平成の30年間では中城村はどのように進んできたのでしょうか。

平成元年、中城村の人口は11,521人でした。久場崎ハイスクール跡地では、地域の組合によって区画整理が進められ、当間地区周辺の農地では土地改良など、環境の整備が進められておりました。先代の方々が未来の中城村をより良い環境にしようと、切り拓いていただいたことがわかります。この30年で、南上原地区の区画整理事業や沖縄電力の企業誘致、認可保育園の増設、中城南小学校の誕生など、常に発展を遂げてまいりました。その結果として、人口が1万人増加し、現在、21,300人を超える方々が中城村で暮らしております。

「とよむ中城」

私たちは先代の方々からこの言葉を受け継ぎ、継承していく責務があります。先代が守ってきたものを残しつつ、新たな時代が豊かで響き渡る時代へ、私たちは次の世代となる子ども達に、誇りあるバトンを託せるよう努力し続けなければなりません。その節目となる新しい時代に向けて、中城村は挑戦を続けなければいけないのです。

沖縄県は好調な観光産業等の影響により平成24年から景気が拡大し続け、今後も継続して振興していくものだと考えております。このような状況の中で、中城村ではこれまで豊かな環境を守り、開発等を一定程度抑制したことによって、他市町村に



はない様々なポテンシャルを高めることができました。今後はこのポテンシャルを開放し、計画的にスピード感をもって取組む必要があります。そのため、これまで著しく建築が限定されている村土の利用状況を見直し、活用できる選択の幅を広げる必要があります。その一つとして沖縄県によって指定されている市街化区域、市街化調整区域の課題を整理し、議論を深めながら、抜本的な改革へ向けて挑戦いたします。

これから審議いただきます予算編成については、厳しい財政状況は依然として変わりありません。歳入では住民税や固定資産税の増加など、人口増加によって一定程度の規模が見込めますが、歳出では人口増加に比例して扶助費等の必要性が高まっております。村政経営の舵を任される者として、必要な財源を必要となるに届けながら、抑制すべきところは徹底して抑え、新たな時代、新たな中城村へ向けて取組んでいく所存であります。

以上のことを踏まえまして、これより平成31年度の施政方針を述べさせていただきます。

1 文教の地 中城村

昨年、村民の皆様の教育に対する意識の高揚と、教育活動への関心を高めるとともに、幼児、児童、生徒の健やかな成長を願って、毎年2月の第1土曜日を「中城村教育の日」として制定いたしました。家庭、地域、学校及び関係機関が互いに連携し、村民全体で教育に関する取組みを推進しながら、継続して今後の中城村を担う人材の育成に力を入れてまいります。

家庭、地域、学校及び関係機関が互いに連携し、村民全体で教育に関する取組みを推進しながら、継続して今後の中城村を担う人材の育成に力を入れてまいります。

幼児教育においては、幼児が様々な人やものとの関わりを通

して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すよう努めます。

学校教育においては、家庭、地域、学校と連携し、「社会に開かれた教育課程」の実現を通して、児童生徒に必要な能力や資質を高めます。また、小中学校への外国語指導助手を配置し、国際性豊かな児童生徒の育成に取組むとともに、中学校においては、将来に向けての夢の実現、キャリア教育としてトップアスリートによる「夢の教室」を実施いたします。

さらに、ICT環境整備として中学校の電子黒板を整備し、主体的・対話的な深い学びへ授業改善に取組むとともに、学習支援員の配置、各種検定への補助や琉球大学との連携・協力を推進することで、自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力の向上に努めてまいります。

不登校や発達障害等によって支援を要する子ども達に対し、それぞれの課題解決や向上を目指すため、必要とされる支援体制を整えます。学校と連携し、個に応じた支援を行うことで、子ども達が安心して学べる教育環境づくりに取組んでまいります。

平成30年度より実施しました中城小学校及び津覇小学校における少人数学級においては、児童の学力及び社会性の向上を図るため個に応じたきめ細かな指導を実施しております。昨年は発表する回数が増えることで児童の学習意欲が高まり、個に応じた指導を充実させることで、学力の向上がみられ、効果が現れはじめております。保護者からも継続してほしいとの声もあり、各学校と連携を図りながら、児童の学力の向上及び社会性の向上に取組んでまいります。

一方、中城南小学校では児童の急激な増加への対応が求められ、教室不足等に陥らないよう施設整備は急務であり、児童が安心安全かつ健やかに学べる環境を確保しなくてはなりません。そのため、中城南小学校では今後も児童数が伸び続けることを予測し、児童がより良い環境で教育を受けられることを



第二に考え、5年先を見据えた10教室の増築工事に着手いたします。

老朽化が進む教育施設につきましては、整備計画策定に組み、安心安全な学校づくりを推進します。また、スクールバス利用者の増加に伴う運行体制の見直しや、各学校行事等に対応するため、新たにマイクロバスを購入し、幼児、児童、生徒の登下校を支援してまいります。

さらに、スポーツ、文化活動において、九州・全国大会へ派遣される児童生徒の支援や、海外短期留学派遣を行い、視野の広い世界で活躍できる人材の育成に努めてまいります。

子ども達の心身の発達に欠かせない学校給食においては、栄養摂取による健康の保持増進、食事についての正しい知識、理解、食習慣を養うなどの食に関する指導を通し、食育を推進してまいります。また、地域で生産された新鮮な特産物を学校給食に取り入れ、地産地消に努めます。

2 福祉の向上を目指して

高齢化率の上昇に伴い、介護保険サービスの相談件数は増加傾向にあります。そのため、役場窓口だけの対応ではなく、訪問等による相談機能の充実が求められます。引き続き、住みよいまちづくりを推進するため、相談支援体制の充実を図ってまいります。

また、介護状態になるのを予防するため、筋力トレーニングや年齢層に応じた体操教室の開催、老人クラブの活性化等、様々な活動を通して、元氣な高齢者が輝けるまちづくりを推進してまいります。さらに、認知症で困っている家族の相談に対応し、適切なサービスが届けられるよう支援することや、専属の看護師が健康相談できる拠点を設置し、福祉関係機関と連携を強化してまいります。

子育てに関して、多様化する悩みや戸惑い、行政へ求める声

などを逃すことなく、時代にあった適切な支援を実施してまいります。

妊婦健康診査に積極的に取り組み、妊婦や胎児の健康状態を定期的に確認し、安心した出産を迎えられるよう準備を整えながら、出産後においても医療機関と連携を図ることで、産後うつ等の予防や新生児の相談など、妊娠期から子育て期にわたる、切れ目ない支援が届けられるよう努めてまいります。

さらに、住民目線のわかりやすく相談しやすい、それぞれの段階に応じた子育て支援が提供できる、総合的なワンストップ拠点の構築を目指し、多様化する子育て世代のニーズに対応できる組織づくりを進めてまいります。こども医療費助成におきましては、中学校卒業まで対象年齢を拡充し、保護者の経済的負担を軽減させながら、着実に成果を積み重ねてまいります。昨年10月からは現物給付が導入され、窓口無料化が展開されております。病気の早期発見、早期治療に繋がることは非常に重要であり、安心して子どもを産み、健やかに子育てができる環境を整えるためにも、たくさんの方々にこの制度を有効活用していただけるよう努めてまいります。

また、特定不妊治療費助成では、新たに4名の命が誕生してくれました。これは大変喜ばしいことであります。不妊治療費は高額ということもあり、経済的負担が重い現実があります。この現実によって、子どもを授かることを諦めざるを得ない方もいるのかもしれません。そのようなことが起きぬよう、中城村ではこの事業を今後も継続して実施し、子どもを授かる希望と、命の誕生の一助になれるよう努めてまいります。

これまで待機児童ゼロを目標に掲げ、保育所等の環境の充実を進めてまいりました。しかし、子育て世代の転入が著しく伸び続けていることから、整備が追いつかない状況にあります。この課題に対して、認可保育所の定員増や小規模保育所の新設など、施設整備を加速化させ、いち早く待機児童ゼロへ向けて、環境整備に努めてまいります。



各保育園では、支援を要する子ども達が年々増加傾向にあります。そのため、柔軟に対応できる、きめ細かな手厚い保育を促すため、対応できる体制をつくれるよう各保育園へ支援を行ってまいります。

放課後や週末等に、児童が安心して生活できる拠点として児童クラブの重要性は高まっております。需要も増加傾向にあり、待機児童が発生しないよう、受け皿確保に努めてまいります。また、ひとり親家庭に対し、経済的負担の軽減と就労できる環境整備を目指して、児童クラブが利用しやすくなるよう助成を行ってまいります。

中城村の現状として、子どもの虐待に関する相談件数は増加傾向にあります。児童虐待に対する防止策など、各種対応が迅速にできる体制を整え、対象家庭の早期発見・早期対応に向け関連機関と連携いたします。通報への対応、家庭訪問、生活相談や指導及び支援策に取り組みとともに、要保護児童やその家族の支援に努めてまいります。また、保育所、幼稚園、小中学校、障害児通所施設等の関係機関の職員を対象とした、児童虐待やDVに関する研修を開催し、職員の知識とスキルの向上を図ってまいります。

子どもの貧困問題について、子ども達の生活の支援に繋げるため、地域や家庭、学校及び学習支援施設など関連機関と連携して取組めます。居場所が必要な子ども達へ、食事の提供や生活指導、学習支援等を行い、安心して過ごせる子どもの居場所を確保いたします。さらに、生活保護世帯や要保護・準要保護世帯に対し、沖縄県が実施している無料塾と連携した学習環境の確保を行い、学力向上の強化、高校受験対策等を図り、貧困の連鎖の解消に向けて取組んでまいります。

3 新たな都市計画に向かって

はじめに述べましたように、新しい時代が豊かな暮らしへ繋

がるよう新たな挑戦を行います。

中城村における戦後の都市計画は、昭和47年に沖縄県によって那覇広域都市計画区域に指定され、昭和49年に市街化区域、市街化調整区域を分ける区域区分の決定が行われました。中城村の市街化区域は南上原地区の一部のみとなり、それ以外は市街化調整区域として、村の基幹産業である農業を中心に発展してまいりました。

市街化調整区域での開発行為は、昭和49年当時における土地所有者や、居住者の血族であること等の要件が必須となり、それ以外の用途は規制がある厳しい状況が続きました。

そのため、中城村はこれまで沖縄県へ様々な要望を行い、一部の地域では自己用住宅のみが建築できるよう一定程度の緩和が図られましたが、依然として規制は厳しい状況にあります。

近年では、大型MICEやそれに伴う西原道路の整備、隣接する宜野湾市と中城村をつなぐ東西方向の道路軸強化といった、中城村を取り巻く周辺環境の変化や新たな課題に対応が求められております。

中城村は確実な歩みを続け、様々なニーズが高まっており、今後はさらなる受け皿が求められておりますが、現状では開発の許可がおりず、住宅や商業施設、宿泊施設、観光関連企業等の立地が困難であります。

さらに、中城村の今後の人口増加率は全国4位、沖縄県では1位となっており、この数字からも中城村が沖縄県にとっていかに重要かがわかります。今後、沖縄県でも予測されている人口減少社会において、中城村がこの人口増加を達成できなければ、沖縄県全域へ大きく影響を与えてしまいます。

そのようなことから、今後の沖縄振興や、魅力的で発展ある中城村を目指すためには、昭和49年に決定された区域区分制度のあり方を再考しなければなりません。そのため、沖縄県によって市街化区域、調整区域が指定される那覇広域都市計画区域から、中城村で用途地域指定ができる中部広域都市計画



区域への移行も視野に含めた、新たな都市計画の議論を深め、中城村から沖縄県の発展へ繋がる、改革へ向けて挑戦してまいります。

4 生涯学習の推進

4年目を迎える護佐丸歴史資料図書館は昨年55,000人超の来館者がおり、地域に親しまれる施設として根付いてきました。

展示室では村内小中学校独自の取組みである「ごさまる科」の授業での利用、学芸員による学校に出向いての出前授業、イベントにおける出張展示など、中城村の歴史や中城城跡、護佐丸について触れる機会を数多く提供してまいりました。また、県立高校や他市町村からの学習視察、毎年開催している歴史文化講座や企画展など、村内外から多くの方々の参加をいただいております。

資料図書室では、引き続き所蔵資料の充実を図るとともに、子供から大人まで、様々なニーズに対応した学びの場の提供や、サポートができるよう努めてまいります。

護佐丸歴史資料図書館が広く親しまれる憩いの場、新たな知識や情報と出会う場、生涯学習を支える場として、村の教育、文化の振興の一助となるよう努めてまいります。

スポーツ・レクリエーションの関心が高まっている中、老若男女に対応した活動の推進が図られるよう中城村体育協会やスポーツ推進員、各社会体育団体と連携し、競技大会やスポーツ教室、親子参加型イベントの開催等、スポーツ・レクリエーション活動の啓発及び促進に取組んでまいります。

また、吉の浦公園では、たくさんの方々が利用しやすい施設となるよう機能強化整備基本計画に基づき、施設整備を進めているところではありますが、平成31年度では吉の浦会館のトイレの増改築を行い、おむつ替えや授乳施設を設けるなど、子

育て世代にも安心して利用できるよう施設の機能強化を図ります。また、テニスコートのフェンスや専用の管理棟整備にも着手し、様々な方が利用できるよう公園機能を高めます。

さらに、ごさまる陸上競技場は、平成31年度全国高等学校総合体育大会のサッカー競技会場となっており、小中高校生にとっては全国レベルの高校サッカーの試合を直に観戦する絶好の機会であるとともに、高度な競技場として県内外へ発信してまいります。

5 各産業の振興について

昨年、中城村の特産物である島にんじんの普及や継承を目的に「中城村島にんじんの日」を制定いたしました。これにより、テレビや新聞、航空会社の機内誌でも紹介されるなど、その知名度は広がりを見せております。今後は島にんじん本来の色であり、市場が求める黄色の普及を進めるとともに、栽培作業の軽減化に向けた取組みを試験的に実施してまいります。

また、10年先の中城村の農業を見据えた、中城村農業振興ビジョンを策定し、基盤整備された農地や肥沃な土壌で栽培されている伝統的野菜など、強みを活かす営農プランを立案します。

現代農業の課題である農業従事者の高齢化率の高さや耕作放棄地の増加、担い手の確保や機械化の促進など、多くの課題に対しては、農家、村農業青年クラブ、JA等、農業関係者の意見を反映させた対策をまとめ、農業振興に向けた施策を展開してまいります。

基幹作物である、さとうきびについては、老朽化が激しいハーベスターの更新が喫緊の課題であることから、沖縄県さとうきび安定生産確立対策事業を活用し、小型機の導入ができるよう努めてまいります。また、園芸作物では、今年1月に開



催されました沖縄県野菜品評会において、中城村の農家が育てた大玉のトマトと島にんじんに金賞を受賞しております。そのため、受賞農家と連携を図り、各農家の技術向上に向けた日々の営農指導に加え、講習会等の開催を行ってまいります。

中城中学校の生徒が村の農産物を使い、開発しました4つの新商品の販売が開始されております。この商品の消費拡大に向けて様々な活動を行い、生徒達の努力から中城村の活性化へ繋がるよう努めてまいります。

中城浜漁港施設につきましては、水産物供給基盤機能保全事業により物揚場、船揚場など修繕工事を実施いたします。

中城村商工会では小規模事業者の支援を進めております。今後も継続して商工会との連携を強め、地域の活性化につながる展示会の開催や効果的な支援活動を行い、売り上げの上昇や利益確保など、持続的発展に努めてまいります。

中城村へ立地を試みる企業が数多くありますが、先ほど述べましたとおり土地利用上の規制等の課題によって、厳しい現実があります。そのため、現状ではどのような形で対応できるか模索し、立地可能な場所や企業、さらに村民ニーズにも対応できる企業誘致に努めてまいります。

産業振興を図るために、中城村観光協会の設立を行います。これまで中城城跡で行ってきたプロジェクトシンポジウムや世界遺産劇場など、様々な事業を観光協会にて実施し、民間の活力を生かした発想力や展開力、推進力による観光振興の強化に努めてまいります。さらに、観光協会が設立されることによって、その横展開として、経済活動の活性化や特産品の販路拡大、交流人口の増加など、非常に前向きな可能性も生まれ、県内外に限らず、様々な分野において中城村を発信できる重要な拠点となります。

沖縄県が観光振興に力を入れて取組み、効果が出続けている中、中城村においても、中城村観光協会から新しい風を起し、世界遺産中城城跡を始めとする、あらゆる産業分野の活性化に努めてまいります。

化に努めてまいります。

6 都市基盤・生活環境の整備

改正水道法が成立し、上水道事業については、より計画的な施設更新による安定的な経営が求められ、各水道事業体の担う責任は増すこととなります。中城村においても、この変革期にしっかりと対応を取るため、改正水道法に即した条例等の整備を行ったうえで、水道台帳の整備や経営戦略の策定等に取組んでまいります。さらに、水安全計画の策定へ向けて作業を進め、より一層の安心安全な水道の供給に努めてまいります。

下水道の整備につきましては、南上原地区の下水道管布設工事を進め、現在の下水道接続可能区域は、南上原の一部と、伊集地区から添石地区の一部までとなっており、接続率は50%を超えております。引き続き接続に対する支援等を行いながら、水質保全の向上に努めてまいります。

南上原土地区画整理事業では、保留地の抽選販売は昨年ですべて完了となりました。たくさんの方々から好評をいただいたことは大変嬉しく思います。今後の区画整理事業の流れとして、事業期間の延長における計画変更を行い、道路の安全施設設置工事や基準点測量、換地計画業務を円滑に進め、2022年度の事業完了を目指してまいります。

村道の整備として、1級村道であるウフクビリ線は、中城村と宜野湾市を東西に結ぶ主要道路ではありますが、村道沿いの擁壁のひび割れや舗装の破損がみられ、災害を未然に防止するための補強及び修繕を行う必要があります。そのため、沖縄県と調整し、補助等を活用した事業実施ができるよう取組んでまいります。

災害時の食糧や防災マット、災害対策の備品整備を行うとともに、停電時において、電力を供給できる車両及び機器の整備を実施し、地域住民の安心安全な暮らしの確保に努めてまいります。



ます。

さらに、災害による被害を予防することや、軽減させるため、自主防災組織の設立を促すことや、防災活動を活発に行い、防災体制が整えられたまちづくりを推進してまいります。

人口増加に比例して、ごみ排出量は増加し、ごみ減量化は喫緊の課題であります。有益なものは資源として活用し、廃棄物の発生を抑制及び適正な処理を行うことで、環境への負荷を可能な限り減らします。そのためにも、行政と住民及び事業者が協力して取り組み、循環型社会の形成に向けて努めてまいります。

新たなごみ処理施設整備につきましては、効率的かつ効果的な広域処理体制が構築できるよう作業を進めてまいります。

ごみの不法投棄については、早期の発見、対応が求められ、監視カメラや立て看板を設置するなど、パトロール強化を行い、発生の抑制に努めてまいります。

国道329号、県道29号をはじめ、集落内道路の交通量が増加しております。特に集落内道路は地域住民の生活道路、児童生徒の通学路として活用されており交通安全の確保は重要であります。年4回開催される交通安全運動及び飲酒運転根絶運動において、交通安全に関する普及啓発を図り、また通学路等での交通安全街頭指導、看板設置など地域の協力を得ながら、交通安全の推進に努めてまいります。

7 歴史文化と平和行政

今年の始め、中城城跡では、護佐丸の時代より古い14世紀前半から半ば頃と考えられる城壁が発見されました。その歴史や築城技術が徐々に解明されつつあり、引き続き中城城跡の整備を進めてまいります。

文化財悉皆調査では、南浜・北浜、浜の調査を予定しており、これにより、すべての地域の調査が終了することになります。

調査で判明した村内文化財の中で、特に重要と考えられるものについては、計画的に村文化財の指定を検討してまいります。

また、現在、立ち枯れしている村指定史跡「伊舎堂の三本ガジマル」について、ガジマルの植え替えや土の入れ替えを行い、景観の復旧及び保全を行います。

戦争の記憶を歴史の波に埋もれさせることなく、豊かな平和社会の実現に向けて二人一人が学び、次世代へ正しく継承していく取組みとして、平和企画展の開催や、村内の中学生を対象とした平和学習交流団の派遣を行い、戦争の実相と平和への理解を深め、それらを継承する先導的役割を担う人材の育成に努めます。

さらに、沖縄戦調査として、これまで村内や疎開先の熊本県における聞き取り調査を実施し、記録を蓄積してまいりました。沖縄戦体験者が年々高齢化している中、聞き取り調査を早めるとともに、戦跡の分布調査、文献資料の収集など記録として残り、大人だけでなく次世代の子ども達に平和を学んでもらう一助として、中城村戦跡マップを作製いたします。

去った2月24日、県民投票において、辺野古新基地建設反対の民意が示されました。玉城県知事はこの民意を日米両政府へ届けるため、様々な行動を起こすと理解しております。中城村としてもこの民意を尊重し、今後玉城県知事と協力しながら、辺野古新基地建設反対と、一刻も早い普天間飛行場の危険性除去を訴え続けてまいります。

8 組織強化と行政運営

平成30年11月15日、多くの関係者が見守る中、中城村役場新庁舎建設工事合同安全祈願祭を執り行いました。平成31年度では、基礎コンクリート打設工事に始まり、内装工事、電気工事、機械設備工事、空調設備工事に順次着手いたします。ま



た、年度末までには屋上4階のコンクリート打設工事、外構工事の着手を予定しております。念願の役場新庁舎の全体が目に見えるようになり、2020年度中の完成に向けて取組んでまいります。

組織強化について、複雑化・多様化する住民ニーズに対応するため、職員研修実施計画に基づき積極的に研修に参加させ、職員個々の能力向上に努めてまいります。

人事評価制度につきましては、より精度の高い評価や人材育成に資するよう、今後も積極的に研修に取組んでまいります。

人口増加や社会経済情勢の変化等に伴う行政事務の複雑化、多様化に伴い、適切かつ効果的な行政経営を目指し、必要なマンパワーを計画的に確保する新たな定員管理計画を策定いたします。また、障がい者の雇用や働き方についても積極的に議論し、実情に応じた雇用の実現に向けて取組んでまいります。

地方公務員法等の改正に伴い新たに導入される会計年度任用職員制度につきましては、制度設計等をしつかりと準備し、財政事情も鑑みた万全の体制で実施に備えます。

自主財源の根幹となる村税の適正な課税と確実な徴収を目指し、引き続き適切な税務行政に取組んでまいります。

国税、県税と連携を密にし、申告、納税の啓発を強化するとともに、公平、公正な受益と税負担の観点から、滞納者に対して財産調査を行い、滞納処分の更なる強化を図ります。一方、様々な理由により納税が困難な方に対しては、法律で定められた猶予等の制度を適用し、生活実態に沿った徴収対策を行ってまいります。

また、今年10月から全国で運用が始まる、地方税共通納税システムに対応するため既存システムの改修を行います。これにより、特別徴収分の個人住民税、法人住民税の電子申告、電子納税が可能となり、納期内納付の向上が期待されます。引き続き納税環境の改善に努め、より一層の納税者の利便性向上に取組んでまいります。

中城村の活性化を目指して、村有財産については有効的に活用できるよう整理を行います。村民の皆様の財産をどのようにに活用できるか考え、この資産を貸付けや売買等によって運用することで、様々な新規事業が検討できるよう新たな財源を確保し、村民の皆様に喜ばれる行財政経営となるよう、努めてまいります。

以上、平成31年度の施策を述べさせていただきました。厳しい財源状況の中、各種事業を展開するための予算編成としては、

- (1) 一般会計予算(案) 8,822,824 千円
- (2) 国民健康保険特別会計予算(案) 2,247,227 千円
- (3) 後期高齢者医療特別会計予算(案) 143,302 千円
- (4) 土地区画整理事業特別会計予算(案) 187,650 千円
- (5) 公共下水道事業特別会計予算(案) 279,076 千円
- (6) 汚水処理施設管理事業特別会計予算(案) 2,437 千円
- (7) 水道事業会計予算(案) 687,372 千円

の規模となっております。中城村の新たな挑戦に対し、議員の皆様並びに村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成31年3月5日

中城村長 浜田 京介

4月10日より申請受付を開始します!

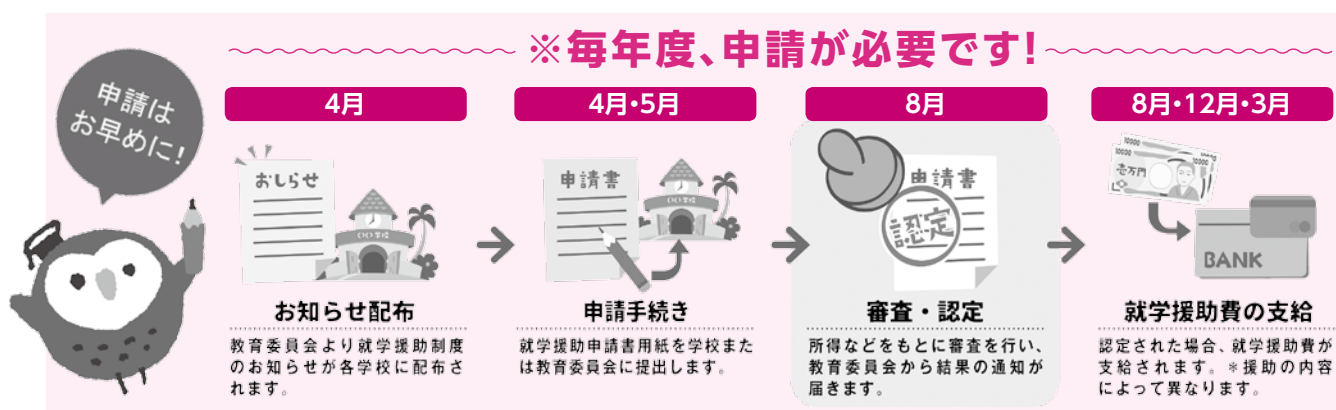


1. 就学援助制度(要保護・準要保護児童生徒援助費)

中城村では、小中学生を対象に、経済的な理由により義務教育に必要な費用の支払いにお困りの世帯に対して、学用品費・給食費・修学旅行費等の教育費を援助する制度があります。援助を希望される世帯は**4月10日から5月末**までに申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付して各学校の事務室・中城村教育委員会へ提出してください。

申請書は各学校事務室・教育総務課、または中城村ホームページ・すくすく!なかぐすくサイト内の新着情報から取得できます。

※毎年度申請が必要です。平成31年2月までに就学援助の入学前支給を申請した世帯も新たに申請が必要です。



2. 第3子以降学校給食費助成制度

小学校1年生から中学校3年生までの間で3人以上の児童及び生徒がいる世帯に、村から学校給食費の一部(3人目以降の給食費の75%)を補助する制度があります。該当する世帯は**4月10日から5月末**までに各学校の事務室又は中城村教育委員会へ申請書を提出してください。

申請書は各学校事務室・教育総務課、または中城村ホームページ・すくすく!なかぐすくサイト内の新着情報から取得できます。

※毎年度申請が必要です。第3子以降学校給食費助成は収入要件はありません。

中城村HP、すくすく!なかぐすくサイトはこちら▼



中城村
ホームページ

すくすく!
なかぐすく



【お問い合わせ】 中城村教育委員会 教育総務課 ☎098-895-3276

障害児福祉手当・特別障害者手当制度について

沖縄県では、精神または身体の重度障害により、常時特別の介護を必要としている方の負担を軽減するため、在宅の重度障害児(者)に対して、障害児福祉手当・特別障害者手当を支給しています。

●支給対象者

障害児福祉手当	精神または身体に重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする 20 歳未満の在宅の重度障害児で、福祉事務所長の認定を受けた方。 なお、以下の場合は対象とはなりません。 ①施設に入所（通所を除く）している場合。 ②政令で定める公的年金を受給している場合 【手当額】月額 14,790 円（平成 31 年 4 月現在）
特別障害者手当	精神または身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする 20 歳以上の在宅の障害者で、福祉事務所長の認定を受けた方。 なお、以下の場合は対象とはなりません。 ①施設に入所（通所を除く）している場合。 ②病院又は診療所に 3 ヶ月以上継続入院している場合。 【手当額】月額 27,200 円（平成 31 年 4 月現在）

●支給制限

手当を請求する方の前年の所得が一定金額以上ある場合、または同居している配偶者及び扶養義務者の前年の所得が一定金額以上ある場合には、手当の支給が制限されます。

●支給

毎年2月、5月、8月、11月の4回に分けて、その前月分までの3ヶ月分を届け出た金融機関の口座に振り込みます。

●申請手続き

認定請求書に、住民票謄本の写し、認定診断書、所得状況届、所得証明書などの必要書類を添えて、中城村役場福祉課へ提出してください。

なお、認定請求書などは役場又は中部福祉事務所地域福祉班にあります。申請に関することなど、ご不明な点は、中城村役場福祉課又は、中部福祉事務所までお問い合わせください。

●備考

現在、障害児福祉手当・特別障害者手当・経過福祉手当受給中の方は平成31年4月分より手当額が以下のとおり変更となりますので、ご了承ください。

平成31年4月分以降の障害児福祉手当、特別障害者手当、経過福祉手当の手当額については、物価変動率(+1.0%)に基づき、1.0%の引き上げとなります。

【障害児福祉手当】 14,650円 → 14,790円

【特別障害者手当】 26,940円 → 27,200円

【経過福祉手当】 14,650円 → 14,790円

【お問い合わせ】 中城村役場 福祉課 ☎098-895-1738(直通)
中部福祉事務所 ☎098-989-6603

第2回中城村戦跡めぐり開催しました!

2月23日、第2回戦跡めぐりを実施し、20名の方にご参加いただきました! 前回(10月)は新垣の戦跡が中心でしたが、今回は南上原の戦跡を訪れました。南上原は戦後の宅地開発等で地形が大きく変わったこともあり、今では沖縄戦当時の状況を想起することが難しくなっていますが、実は中城村で最も多くの日本軍陣地が造られていた地域です。あまり知られていない戦跡などの現場を訪れ、足下の歴史を共に学びました。

また、村教育委員会生涯学習課では今後“わかりやすく、使いやすく、学習効果の高い”戦跡マップを作成します。戦跡めぐりは、戦跡を訪れて学ぶだけでなく、参加者に実際に戦跡を見ていただいたうえで、「どのように次世代へ沖縄戦の実相や平和の大切さを伝えれば良いか」などのご意見を頂くことも目的としています。皆さまからのご意見を戦跡マップ作りに反映させ、村民の皆さまと共にマップを作りあげていきたいと考えています。今後も定期的に戦跡めぐりを実施する予定です。

●実施概要

▶コース ①慰霊之塔・平和の波・平和の風(添石)→②北上原の日本軍陣地(北上原・南上原)→③南上原の日本軍陣地(南上原)→④155高地陣地(南上原)→⑤142高地陣地(琉大内より望む)

参加者の声

- 住民自らが戦没者の遺骨を収集して、納骨したことを強く伝えていきたいと思った。
- 戦跡マップを学校現場で使うことを想定するのなら、その学年に応じたマップの作成が必須。また、教員のために指導案を作ったほうが平和学習などにも学校として取り組みやすくなると思う。
- 南上原は景観が大きく変わっていたが、ガイドの説明を受けることで戦時中の様子を想像することができました。
- 「平和の波・慰霊之塔・平和の風」は中城村の平和を希求し祈念する大切な場所なので、道路からも分かるようにサインを付けたほうがよいと思う。
- 糸蒲の日本軍壕から見つかった出土品(茶碗や名前入りの万年筆、通信機等)を直接見てみたい。やはり当時の物から得られる体験が必要です。
- 地元のことをよく知る人たちの証言、体験談を直接聞く機会も途中に入れてもらえればと思います。



▲糸蒲の塔の前で記念撮影



▲155高地陣地で壕の解説



▲意見交換会で活発な意見が飛び交った

【お問い合わせ】 中城村教育委員会 生涯学習課 ☎098-895-5700

沖縄戦調査ノート

その4

中城小学校の学童疎開

1945年、沖縄では凄惨な地上戦があり、多くの人命や財産が失われました。またその一方で、県外で戦争を体験した人々もいます。学童疎開もその一つです。

「広報なかぐすく」No.254 & No.256では津覇小学校の学童疎開について紹介しましたが、今回は中城小学校の学童疎開をご紹介します。

様々な想いを抱え疎開

1944年8月22日、児童は親との寂しい別れ、県外に行ける楽しみ、不安、いろいろな想いを抱え、九州へと旅立ちました。

「兄が伊舎堂区長していて、疎開を勧めていた。区長の家族だからと、私と甥姪の4名が学童疎開することになった。(昭和六年生・菊枝)」菊枝さんは、6人兄姉末っ子の甘え盛りだったので「絶対に親と離れたくなかった」けれども、疎開を勧める立場の長兄に説得され、しぶしぶ疎開することになりました。

一方、「疎開することを僕は喜んだ。汽車に乗れるから。沖縄には、汽車がないさあね。(昭和十年生・英信)」といったように修学旅行気分だった児童もいました。

「船が出港する時に、母が肩をギュッと抱いてくれた感覚が今も忘れられない。(昭和七年生・初枝)」これが母親との永遠の別れとなった児童も

いました。

「あとで聞いた話だけど、どちらか一方が生き残れるようにと、親は僕を県外疎開させたみたい(英信)」地上戦となった沖縄で長男は戦死、疎開した次男の英信さんが生き残りました。

二次疎開先の田底へ

那覇港を出発した船は、鹿児島に到着し、そこから受け入れ先となる熊本県山鹿(山鹿市)へ移動。しかし、食糧事情の悪化などから、山鹿鉄道沿線の田底村(現・熊本市北区)へと再疎開することになりました。

疎開先での生活はよく「ヤーサン(ひもじい)・ヒーサン(寒い)・シカラーサン(寂しい)」だったと言われますが、苦しい状況は再疎開先でも続きました。「竹を簡単に切っただけの簡易的な器を使ってご飯を食べていた。節の長さの位置によってご飯の量が変わるから争奪戦だったよ。(昭和十二年生・真隆)」

「霜の降りている日にボロボロの草履で登校するとね、足裏を刺すんです。『アガヨー、アガヨー(痛いよ、痛いよ)』して…。あの痛さはもう、ねえ。(昭和十二年生・盛範)」

苦境に陥っていた疎開児童を田底村の人々は見捨てることなく、温かく接してくれました。「田底の農家さんの家で麦刈りや稲刈りを手伝ったんだ。いっぱいご飯を食べさせてくれてね。当時は田底もそんなに食料事情はよくなかったはずなのにね。(昭和五年生・盛光)」

疎開児童はぎりぎりの生活をしながらも田底村の皆さんのお世話になり、一人も死者を出すことなく帰沖しています。

戦後の交流

中城の児童は1946年末に沖縄に引揚げ、その後も交流は続いています。村教育委員会生涯学習課は、2018年10月、疎開先だった旧田底村で聞き取り調査を実施しました。その際、驚くことに、田底小学校や田底コミュニティセンターを始め、多くの家庭にシーサーや漆器、琉球人形などが飾られていたのです。沖縄の元・疎開児童から贈られたものだそうです。

海に面した中城と山に囲まれた田底。両地域は奇しくも真逆の風景を有しています。疎開の当事者だけに留まらず、次世代にも交流のバトンを引き継ぐことを願います。

中城村教育委員会

生涯学習課文化係

中村春菜 喜納大作

参考文献

『沖縄県史 第6巻 沖縄戦』
『中城村史 第4巻 戦争体験』



安里艶子氏の縫った衣装をまとっている琉球人形。かつて安里さんが田底の松本さんにプレゼントしたものだが、今も大切にお持ちだった(田底:松本さん所蔵)

下水道補助金 4月からスタート

中城村では、公共下水道供用開始地区にお住まいの方へ、下水道接続工事に対して補助金交付を行っております。（※新築は除く）

平成31年度の受付を4月より開始しますので、この機会に下水道へ接続しましょう！

●公共下水道供用開始地区

伊集～屋宜・添石一部・南上原一部



●補助額

※設置している浄化槽の種類によって補助額が異なります。

単独処理浄化槽または汲み取り式トイレを設置している建物の場合→上限 **100,000 円**

合併処理浄化槽を設置している建物の場合→上限 **50,000 円**

【お問い合わせ】 中城村役場 上下水道課 ☎098-895-5280(直通)

平成30年度の赤十字募金のご協力 ありがとうございました。

お寄せいただいた活動資金は、日本赤十字社にて国際活動・災害救護活動・医療事業・血液事業・社会福祉事業等に有効活用されています。ご協力いただきました皆様、職場や学校、企業、村分区赤十字奉仕団、その他関係団体の皆様へ心より感謝申し上げます。

〈各自治会〉

自治会名	件数(世帯)	金額	自治会名	件数(世帯)	金額	自治会名	件数(世帯)	金額
伊 集	154	77,000円	安 里	93	46,500円	登 又	143	71,500円
和宇慶	173	86,500円	当 間	152	76,000円	新 垣	122	61,000円
南 浜	51	25,500円	屋 宜	161	80,500円	北上原	199	99,300円
北 浜	104	52,000円	添 石	66	33,000円	南上原	409	204,500円
津 覇	156	78,000円	伊舎堂	110	55,000円	県営中城団地	55	27,500円
奥 間	176	88,000円	泊	110	55,000円	サンヒルズ	108	54,000円
浜	100	50,000円	久 場	330	165,000円	県営中城第2団地	26	13,000円

〈自治会・事業所・職域・個人・他〉

自治会	2,998 世帯	1,498,800 円
事業所（法人・企業等）	103 所	690,111 円
職域職員（18 事業所）	749 人	374,828 円
個人・他	2 件	15,070 円
合計		2,578,809 円

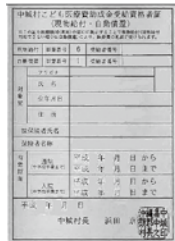
【お問い合わせ】 中城村役場 福祉課 ☎098-895-1738(直通)

ヘルプロ通信

ヘルプロとは…ヘルスプロモーション（健康増進）の略です。このヘルプロ通信を通して住民のみなさんの健康づくりに関する情報を掲載していきます。

中城村こども医療費助成制度

対象年齢	助成内容
0歳～ 中学校卒業まで (3/31)	入院も通院も 医療費無料！



こども医療費助成制度とは、0歳から中学校卒業までのお子様の医療費を助成する制度のことです。平成30年10月診療分より窓口無料化がスタートし、それに伴いカードの色がオレンジ色からピンク色に変更となりました。沖縄県内の窓口無料化に対応している医療機関へ受診の際に、窓口にてピンク色の受給者証を毎回提示することで、保険診療分の自己負担分を窓口で支払うことなく、無料で医療を受けられます。

※窓口無料化に対応している医療機関について、沖縄県のホームページで公開しています。窓口無料化に対応していない医療機関で受診された場合は、これまで通り、自動償還または中城村役場健康保険課窓口にて領収書持参の上、支給申請手続きを行ってください。

※こども医療費助成受給資格者証が届いていない方は、健康保険課までご連絡をお願い致します。

2歳児個別歯科健診を実施しています

中城村では、平成28年度より「2歳児個別歯科健診」をスタートしています。実施前は3割のお子様に虫歯がありましたが、実施後は約半分に減少しました。

これから歯が生え揃うお子様に、歯科医院で口腔内のチェックや歯磨き指導、お口の相談を行うことにより、早めのケアできれいな歯を保持することを目的としています。希望があれば、フッ素塗布も無料で受けることができます。

対象者：①健診受診日に中城村の住民
②受診票が発行された日から3歳の誕生日の前日まで
※対象児には受診票を送付致します。

費用：無料

※ただし、治療などを受ける場合は別途請求される場合があります。その場合、保険適用内の治療であれば、こども医療費助成の対象となります。

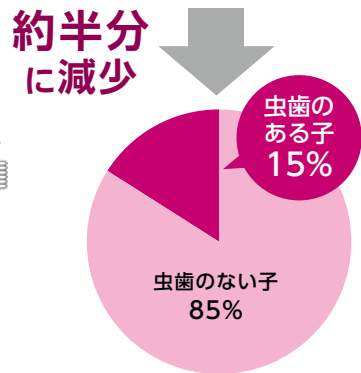
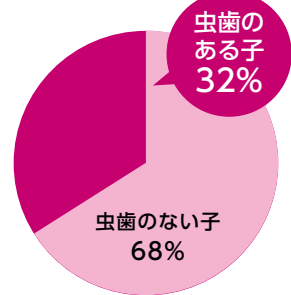
健診に必要なもの：

- ①親子手帳
- ②健康保険証・こども医療費受給資格者証
- ③個別歯科健診受診票（受診票の太枠内は必ず記入してください。）



受診可能な医療機関：中城村と契約をしている歯科医院

※平成31年3月をもちまして、つばさデンタルクリニックでの2歳児個別歯科健診を終了しました。



約半分に減少

【お問い合わせ】 中城村役場 健康保険課 ☎ 098-895-2131 (内線 254)

村内農家が各賞受賞!!

1月27日に那覇市の奥武山公園で「おきなわ花と食のフェスティバル2019 園芸関係表彰式」が行われ、中城村の農家より出品された農産物が品質や生産技術で高い評価を受け、見事入賞しました。野菜品評会において、トマト農家の新垣直也さんと、島にんじん農家の与儀安信さんが金賞を受賞しました。

第29回野菜品評会受賞者

金賞（内閣府沖縄総合事務局農林水産部長賞）

新垣 直也（品目：トマト）

金賞（沖縄協同青果株式会社社長賞）

与儀 安信（品目：島にんじん）

銀賞

饒波 ツル子（品目：島だいこん）

銅賞

仲松 隆貴（品目：セロリ）

仲松 芳子（品目：島にんじん）



▲金賞受賞の報告にいらした新垣直也さん(左)と与儀安信さんの奥様・夏美さん(右)。

第34回花き品評会受賞者

銅賞

新垣 忠夫（品目：大ぎく）

比嘉 久賀（品目：観葉鉢物）



▲コープおきなわ山内店にて

自分達で開発した商品を実演販売

中城中学校の2年生が村の農産物を使用した商品開発に取り組み、完成した島にんじんケーキや冬瓜スープなどの4商品がコープおきなわ6店舗にて2月26日、販売されました。販売日には、生徒自ら店頭に立ち実演販売を行いました。当日は用意した商品がほぼ完売するほどの大盛況ぶり、生徒達にとって喜ばしい結果となりました。



備えよう、“いざ”という時に

3月11日、吉の浦会館で防災講演会が開催されました。沖縄国際大学非常勤講師の稲垣 暁先生^{いながきさとる}をお招きし、地震に対する心得と備え、地域防災、過去の体験例を示し、自然災害を防止・軽減するための取組など自らの命を守る行動「自助・共助」について講演をしていただきました。参加者からは、「東日本大震災から8年、日々の暮らしで忘れがちになるが、改めて防災について考えさせられる。」といった声が聞かれました。



▲護佐丸歴史資料図書館の屋上に避難している様子



▲消防による救助訓練

3.11 中城村総合防災訓練

当間・安里両自治会の協力のもと、中城村内において大規模な地震による土砂災害や津波が発生した場合を想定した避難訓練や消防による救助訓練を護佐丸歴史資料図書館（避難場所）で、初めて実施しました。本訓練を通じ、村民一人ひとりが、災害発生時において、「自らの身の安全は自らが守る」ための行動を考え、災害に対して日頃から十分な準備を講じることができるよう防災に関する意識の高揚を図り、知識を得る機会となりました。



▲訓練後の反省会では、今後の改善点等を話し合いました。



▲表彰された呉屋真規子さん(前列左から2番目)、呉屋碧海さん(前列中央)、新垣喜秀さん(前列右から2番目)

地域住民の連携プレーで初期消火

中城村内で発生した住宅火災において、迅速な初期消火を行い、被害を最小限に食い止めた新垣喜秀さん、呉屋碧海さん、呉屋真規子さんの3名に対し、中城北中城消防本部より表彰状が授与されました。城間昌彦消防長は、「火災があった建物には誰も居らず、初期消火が無ければ被害の拡大はあった。皆さんの勇気を持った行動に感謝する」と述べ、表彰された呉屋真規子さんは「その場にいた人全員で力を合わせたから消火できた。自分一人だけでは何もできなかった。」と、地域の繋がりの大切さを語りました。



▼夢先生の富平辰文さん

▲夢先生の前田美順さん



メセンによる、夢の教室

2月27日～28日、中城中学校の2年生を対象にJFA ころのプロジェクト「夢の教室」が行われました。今回は、元キックプロボクサーの富平辰文さんと、バドミントン選手の前田美順さんを「夢先生」として講師にお招きし、自身の体験から夢に向かって努力することの素晴らしさについてお話していただきました。生徒達は、夢先生の講義に熱心に耳を傾け、自分の将来について深く考えている様子でした。

5月 健康カレンダー

こどもの健診 実施場所：吉の浦会館

3歳児健診 ▶ 5月9日(木)

対象 3歳6ヶ月～4歳未満のお子様
受付時間 13:00～14:00

1歳6ヶ月児健診 ▶ 5月23日(木)

対象 1歳6ヶ月から2歳未満のお子様
受付時間 13:00～14:00

※対象のお子様には、健診の3週間前を目安に、受診票を送付致します。

おとなの健診 実施場所 吉の浦会館 受付時間 8:30～11:00

子宮頸がん・乳がん検診 受付時間:13:30～14:30

5月7日(火) 場所:久場公民館
5月10日(金) 場所:津覇構造改善センター
5月17日(金) 場所:新垣公民館
5月21日(火) 場所:和宇慶公民館
5月24日(金) 場所:南上原公民館
5月28日(火) 場所:南上原公民館
5月31日(金) 場所:吉の浦会館

※各種日程は変更となる場合があります。詳しくは健康保険課までお問い合わせください。

ふれあい事業 実施場所：各公民館

●新垣 4月4日(木)	●泊 4月16日(火)
●和宇慶 4月8日(月)	●久場 4月17日(水)
●浜 4月9日(火)	●奥間 4月18日(木)
●南上原 4月9日(火)	●北上原 4月23日(火)
●北浜 4月10日(水)	●南浜 4月24日(水)
●登又 4月11日(木)	●伊舎堂 4月25日(木)
●津覇 4月15日(月)	●当間 4月26日(金)

※ふれあい事業とは…80歳以上の方を対象に、各自治会が主体となって行う地域住民のふれあいを目的とした事業です。ボランティア活動としてもご参加頂けます。

※ふれあい事業については中城村社会福祉協議会 (TEL 098-895-4081) までお問い合わせください。

あたいぐあ～朝市開催のお知らせ

【日 時】平成31年4月14日(日)・28日(日)
午前9時～11時

【場 所】浜漁港内荷さばき場

新鮮野菜や海産物、加工品等を取りそろえて皆様のお越しをお待ちしております。出展者も随時募集しておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】朝市実行委員会

会長 伊佐盛好 ☎090-4352-8423 事務局 金城 章 ☎090-3794-4133

確かな技術と地域貢献

*土木一式工事業・交通安全施設・標識設置業・建築一式・電気設備・管工事業
(空調・給排水衛生設備)・防水工事業・リフォーム・断熱塗料(マスコート・フミンガラスコーティング)
*機械器具設置工事業(据付保全・プラント配管)・水道工事業
消防施設工事業・スプリンクラー工事業・太陽光発電・オール電化システム設置業

特 定
建 設 業



株式会社 沖永開発

代表取締役社長 安里 邦夫

本 社：〒901-2131 浦添市牧港五丁目6番3号 電話 877-6399(代) FAX 878-6674
事業本部：〒901-2302 北中城村字渡口471-1 電話 935-5801(代) FAX 935-5803
中城支店：〒901-2417 中城村字伊集156番地 電話 895-2455

中城村商工会会員 国際規格 ISO 9001(品質) ISO 14001(環境)認証取得

ホームページ <https://www.okieidev.co.jp/>

5月カレンダー

◆なかよし児童館

☎098-988-0156

つくってみよう会「フォトスタンドづくり」

- 日時 5月10日(金) 午後4時～5時30分
- 定員 10名
- 材料費 50円



新チャレンジマッチ月間

チャレンジマッチが新しく
なったよ！チャンピオン
目指して頑張ろう！！
内容は児童館で確認してね♪



◆地域子育て支援センター (ごさまる)

☎098-988-0134

お誕生会・お弁当会 ～みんなでお祝いしましょう～

- 日 時 5月8日(水) 午前10時30分～午後1時
- 場 所 地域子育て支援センター
「ごさまる」(遊戯室)
- 持ち物 お弁当・飲み物
- 参加費 無料



※午後は2時開館です。

母の日企画 ～のんびりアロマスプレー(虫よけ) づくり&ゆんたく会～

- 日 時 5月16日(木) 午前10時～11時30分
- 場 所 地域子育て支援センター
「ごさまる」(遊戯室)
- 講 師 蔵前りえ子 氏
(IPAフィットアロマセラピスト)
- 定 員 15組
(定員になり次第締め切ります。)
- 参加費 無料



※5月1日(水)～5月6日(月)は休館となります。
※詳しくは児童館・子育て支援センターまでお問い合わせください。
※申込みは来所にて受け付けております。

補償コンサルタント・建築設計・設計監理・測量



株式会社
沖縄ランドコンサルタント

代表取締役 桃原 昌宏

〒900-0024 那覇市古波蔵4丁目7番21号

TEL (098) 851-8845

FAX (098) 851-8846

中城村 護佐丸歴史資料 図書館



中城村の人口 平成31年2月末現在

人 口	21,313人	(-1)
男	10,666人	(+10)
女	10,647人	(-11)
世帯数	8,605世帯	(+1)

※()内は前月との比較

5月 護佐丸歴史資料図書館 資料図書室カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

● 休館日です ■ 午後5時までです

開館時間

【資料図書室】

月・水～金・祝 午前10時～午後7時
(※祝日が土日にあたるときは午後5時まで)
土・日 午前10時～午後5時

【中城歴史展示室】

月・水～日曜日 午前10時～午後5時

【休館日】

毎週火曜日、毎月第3木曜日(資料整理日)
慰霊の日、年末年始、特別整理期間
祝日の翌平日(振替休館)

【お問い合わせ】

TEL 098-895-5302

駐車場出入口が変更になります

4月1日から図書館駐車場の出口と入口が逆になります。ご利用の際は、お間違えないようご注意ください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4・5月の連休中の祝日の開館日・開館時間 の変更について

祝日は、午前10時から午後7時まで開館し、翌平日が振替休館となっています。しかし、**5月の連休中は、祝日の開館時間を5時までとし、その代わりに振替休館は行いません。**

※GW(10連休)期間中の開館時間※

・4月27日(土)～5月6日(月)
午前10時から午後5時まで

※ただし、4月30日(火)・5月7日(火)は、**休館となります。**

※5月8日(水)より平常の開館スケジュールとなります。左記のカレンダーもご確認ください、お間違えのないようご注意ください。

業種：建築設計、設備設計各種、住宅、マンション、店舗 その他設計各種



株式会社 **ニキ設計**

本 社：〒904-2141 沖縄市池原四丁目1番30号
電話 098-939-1110(代) FAX 098-982-1007
E-mail info@niki-a.co.jp
うるま室：〒904-2245 うるま市宇赤道 971-66 電話 098-973-1556



株式会社 **与那嶺測量設計**
<http://www.yonamine.co.jp/main.html>

◆ 営業種目 ◆

都市計画・補償業務・地理情報システム

本 社：〒902-0065 那覇市壺屋1丁目22番11号
TEL 098-861-2151 FAX 098-861-9120

与那原営業所：〒901-1303 与那原町字与那原3309 3F
TEL 098-944-4400 FAX 098-944-4413

中城営業所：〒901-2413 中城村字津覇202-2
TEL 098-895-7175

GW期間中のごみ収集や各施設の開館状況について

	4/27	4/28	4/29 (昭和の日)	4/30 (退位の日)	5/1 (即位の日)	5/2 (国民の休日)	5/3 (憲法記念日)	5/4 (みどりの日)	5/5 (こどもの日)	5/6 (振替休日)
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
中城村役場	閉 庁									
村民体育館・吉の浦公園	9：00 } 22：00		9：00 } 17:00		休館		9：00～17：00			
吉の浦会館	9：00～22：00			休館		9：00～22：00				
護佐丸歴史資料図書館	10：00～17：00			休館		10：00～17：00				
なかよし児童館	10:00 } 17:45	休 館								
子育て支援センター (ごさまる)	9:30 } 16:00	休 館								
中城村老人福祉センター	閉 所									
中城城跡	通常どおり観覧できます。(8:30～17:00)									
ごみ収集	通常どおり、ごみ収集を行います。 粗大ごみの第 1 木曜収集地区 (伊集・和宇慶・南浜・北浜・津覇) については、 4 月 26 日 (金) までに 申込受付が必要となります。									

EMスPAで日頃の疲れを心身ともにリフレッシュしませんか!
 毎週水曜日は中城・北中城還元デー
 中城村・北中城村にお住まいの皆様は
 * 大浴場・サウナ・岩盤浴 *

通常2,000円が**1,200円**でご利用頂けます。
 ※入館時に中城村または北中城村の在住の証明になるもの
 (免許証または保険証など)をフロントへご提示下さい。

EMウェルネスリゾート コスタビスタ沖縄 ホテル&スパ
 EMスPAコラソン沖縄 TEL.098-982-0100
 〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村字宮吉崎1478番地

EMスPAコラソン沖縄
 いつでも
 お得なクーポン
 【利用期限 2019.6.30迄】

こちらの広告を切り離してお持ち頂きますと、
 大浴場・サウナ・岩盤浴(通常2,000円)をいつでも**1,400円**で
 ご利用頂けるクーポンとなります。(最大4名様迄)

(社)沖縄県測量建設コンサルタント協会会員
 株式会社 **双葉測量設計**
 土木設計・測量全般・用地調査・施工管理・土質調査

代表取締役 **安里盛光**

本社 〒902-0072 沖縄県那覇市字真地301
 支社 〒901-2403 沖縄県中頭郡中城村字伊舎堂443-2
 電話 (098)854-4255(代) FAX (098)854-4254
 E-mail: futaba01@carrot.ocn.ne.jp

平成31年度 中城村中学生・高校生海外 短期留学派遣事業について

海外で学習する機会を与えることにより、心の豊かさと国際感覚を養うとともに、明確な自己表現力を培い、国際社会に適応する能力や資質の向上を図り、国際性豊かな人材を育成することを目的に、以下のとおり留学生を募集いたします。

●派遣期間

2019年7月11日(木)から7月31日(水)までの21日間

●派遣先

アメリカ合衆国ワシントン州(ワシントン州立大学)

●対象者

中城村内に在住し、学校教育法で定める中学校及び高等学校に在籍する生徒とする。

●募集期間

2019年4月1日(月)～4月26日(金)

●費用

593,600円

(内訳:自己負担296,800円、助成金296,800円)

●生徒・保護者説明会

日時:2019年4月18日(木) 午後7時～

場所:吉の浦会館(中会議室)

※説明会には、親子でご参加ください。

●選考試験

2019年5月11日(土)



【お問い合わせ】
中城村教育委員会 生涯学習課
☎098-895-3707

危険物取扱者試験の 実施について

●試験日 2019年6月23日(日)

●試験の種類

甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種

●試験会場

北部農林高等学校、琉球大学、南部農林高等学校、宮古工業高等学校、八重山農林高等学校

●願書受付期間

2019年5月10日(金)～5月17日(金)

●願書配布先

各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、消防試験研究センター
※電子申請できます。ホームページをご覧ください。

URL:<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

●願書提出先

(一財)消防試験研究センター沖縄県支部
〒900-0029 那覇市旭町116-37
自治会館6階



【お問い合わせ】
(一財)消防試験研究センター沖縄県支部
☎098-941-5201

高齢者を法的にサポートします！

★成年後見（法定後見・任意後見）専門★
司法書士 横山 耕 治
出張相談致します。

まずは、お気軽にお問い合わせ下さい。

携帯 090-4165-9964

Fax 098-993-5458

『G30アスリートによるエンジョイ陸上教室』 受講生募集のお知らせ♪

- 日 時 2019年5月11日・18日・6月1日・8日・15日(毎週土曜日)
※5月25日を除く全5回
午前9時～11時 ※15分前集合をお願いします。
- 場 所 ごさまる陸上競技場
- 対 象 小学4年生～6年生 定員30名(運動制限のない方)
- 指 導 員 儀間 由紀美&G30アスリートメンバー



▼儀間 由紀美

公益財団法人日本陸上競技連盟 公認陸上競技指導者。2017年「全日本マスタース陸上競技選手権大会200M」優勝など数多くの実績・記録を持つ。また、2016年6月「第36回沖縄マスタース選手権大会女子W30クラス400Mリレー」において日本記録52秒76(当時)を出したメンバーの一人。

▼G30アスリートメンバー

ごさまる陸上競技場を拠点に、一般から壮年まで幅広い年代で、現在は短距離を中心として日々練習を重ねる陸上競技メンバー。特に女子アスリートは県民大会年代別リレーにおいて2連覇を成し遂げるなど県内屈指の実力を誇る。ちなみに、チーム名「G30(ジーサーティー)」とは「護佐丸(ごさまる)」に由来する。

- 受講料 1,500円(保険料込) ※申込時に納入をお願いします。
- 申込募集期間 2019年4月15日(月)～4月26日(金)
- 申込方法 事務局(中城村民体育館)で申込書を配布しておりますので、必要事項をご記入のうえ、提出してください。

ボランティアスタッフも募集しています！ スポーツを通して中城村を明るく結いの地域へ！

●趣旨・理念

- ①スポーツ活動の普及・拡大
- ②スポーツを通じた住民の健康促進
- ③青少年の健全育成
- ④スポーツを通して中城村の魅力を村内外へPR

●対象者

- ①スポーツ活動・健康増進・青少年の健全育成に興味のある方
- ②イベント・教室運営を楽しみたい方
- ③経験・村内外問わず

●主な行事

- ・トリムマラソン大会 ・バスケットボールまつり
- ・陸上教室・ヨガ教室
- ・ジュニアソフトテニス教室
- ・小・中陸上交流大会 ・ズンバ教室
- ・護佐丸ウォーキング

●役割

- イベント・教室の運営を支えるスタッフ
- ※スタッフを随時募集しています。

【お問い合わせ】 吉の浦総合スポーツクラブ(中城村民体育館内) ☎098-895-3707

平成31年度 生涯学習講座の参加者募集! アロマ・メンタルケア教室

- 講座内容 アロマ(美と健康・スポーツ)・メンタルケア・アスリートフード
- 開催日 2019年5月13日(月)・16日(木)・20日(月)・23日(木) ※月・木 全4回
- 時間・場所 午後7時～8時30分 吉の浦会館 中会議室・和室
- 対象者 中学生以上の村内在住者(定員20人)
- 材料費 1,000円程度
- 持ち物 筆記用具・ヨガマット・バスタオル ※ヨガはしません。
- 申込期間 2019年4月22日(月)～5月7日(火) 午後5時まで
※4月30日は休館日のため、申込み不可。

※本講座でのケガ・事故等は傷害保険適応範囲とします。

※本講座の写真等は広報物やホームページ等へ掲示・掲載させていただく場合があります。

【お問い合わせ】 中城村教育委員会 生涯学習課 ☎098-895-3707

絶対に働いてはダメ! 危険な「JKビジネス」

- 女性の意に反してアダルトビデオへの出演を強要する問題や、近年、大都市の繁華街を中心に女子高生等によるマッサージ、会話やゲームを楽しませるなどの接客サービスを売り物とする、いわゆる「JKビジネス」と呼ばれる営業により、児童が性的な被害に遭う問題等、若年の女性に対する性的な暴力に係る問題は深刻な状況にあることを踏まえ、平成29年3月21日、いわゆるアダルトビデオ出演強要問題・「JKビジネス」問題等に関する関係府省対策会議が設置され、政府を挙げた取組を推進することとなり、毎年4月は政府一体となった「AV出演強要・JKビジネス等被害防止月間」と位置付けられています。
- 一見すると問題のないアルバイト先に見える場合でも、女子高校生等が客から児童買春等の被害に遭うなどのケースが目立っており、安易に働くことはとても危険です。
- 「JKビジネス」に係る各種トラブルに遭った際は、警察相談窓口「**#9110**」や宜野湾警察署(☎098-898-0110)に相談しましょう。相談は24時間受け付けており、プライバシーは守られます。

【お問い合わせ】 宜野湾警察署 少年課 ☎098-898-0110

「広報なかぐすく第263号」に関するお詫びと訂正

平成31年3月5日に発行した「広報なかぐすく第263号」について、9ページに掲載しました「新発見!中城城跡 14世紀前半～中頃の城壁発見」の記事において、米国ペリー艦隊の探検隊が中城グスクを訪れた年代に誤りがございましたので、ここに訂正してお詫びいたします。

【誤】

1983年に中城グスクを訪れた米国ペリー艦隊



【正】

1853年に中城グスクを訪れた米国ペリー艦隊

中城中学校北側道路の交通規制について

中城中学校北側の道路は、道幅も狭く朝の通学ラッシュの時間帯は交通渋滞が激しく、地域の住民の皆様にもご迷惑をかけている状況でした。その状況を改善するため、平成29年度より朝の一部の時間帯において、地域住民の御協力のもと交通規制を実施しております。

村民並びに中学校保護者の皆様には、下記の時間帯においては、通行に注意しながら交通安全・交通規制へのご理解とご協力をお願いいたします。

▼交通規制内容

一方通行

(国道方向より侵入して村道に向けての通行)



▼時間帯

朝の7時～8時30分まで

※土日休日(1月2・3日)を除く



【お問い合わせ】 中城村教育委員会 教育総務課 ☎ 098-895-3276



中城の栄養士だよ

No.85



《管理栄養士:具志堅》



皆さん、春がやってきましたよー!! 4月に入り、徐々に暖かくなり日も長くなってきたことで自然と外出や体を動かす機会が増えてきたのではないのでしょうか? 体も季節を感じて、気温が上がり始める春から新陳代謝(デトックスし、新しい細胞・組織を作り出すエネルギー)が上がってきます。ダイエットに効果的な春に、運動もしながら、食物繊維豊富な野菜の温かいスープを食べて身体の中から温め、脂肪燃焼&新しい体の再生をしましょう。『目指せ美ボディー!!』

脂肪燃焼スープ

今日の いっぱいまさい品



栄養価<1人分>
エネルギー: 95Kcal
タンパク質: 3.3g
炭水化物: 21.9g
脂質: 0.6g
塩分: 1.2g

食品名	分量
玉ねぎ	大3つ (750g)
にんじん	1本 (150g)
セロリ	大1本 (100g)
キャベツ	1/2玉 (500g)
しめじ	1パック(100g)
トマト缶	1缶 (400ml)
コンソメ	3個
塩	適量
こしょう	適量
水	1.5L

《作り方》

- ① 野菜を食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋に野菜、水、コンソメ、トマト缶を入れ、中火で煮込む。
※スープのかさが減ってきたら、適宜水を追加して調整をしてください。
- ③ 最後に塩コショウで味を調えて完成です。

基本のスープをアレンジ

カレー粉…クルクミンやスパイスの作用で脂肪燃焼を高めます。ただし、カレー粉は脂質が多いので注意!!
キムチ…カプサイシンの作用で、代謝促進に期待大。
ポン酢…さっぱりスープに!クエン酸で代謝促進に期待。

他にも豆乳、チリソース、みそ、しょうゆであれば加えてもダイエットに影響しませんので味を変えながら楽しみましょう。
※調味料を加えるときは減塩の為にみ入れすぎに注意しましょう。